

第20号



シルバー今治

題字 武田正春

<発行>

公益社団法人 今治市シルバー人材センター

所在地 〒794-0033 今治市東門町五丁目 840 番 4

TEL 0898-22-2003

FAX 0898-31-3601

URL <http://imabari-silver.jp/>

Eメール imabari.sjc@fancy.ocn.ne.jp



「サギソウ」

越智
和志

おめでとうございます

令和2年度は、会員63名の皆様方が表彰されました。コロナ感染拡大防止のため、例年のような総会を開催できなかったことが残念でしたが、これからも引き続きお元気で、今後益々のご活躍を期待しています。



表彰者を代表して木原貢さんに
表彰状と記念品を渡しました

表彰者

会員

越智雅弘・宗方利夫・青野哲朗・阿部時博・福田新太郎
神野茂喜・芥川苑子・大河内政幸・井上次郎・門田正幸
坂本ヒロコ・藤原昭二・田頭文雄・吉本幸雄・鈴木保司
木原貢・品部功・阿部啓三郎・矢野次男・蒲地美鈴
枡本憲治・合田正義・宮本太市・丹治健二・本宮俊千代
中西謙・森正則・越智重夫・高木明正・正岡亨之助
矢野良男・越智三郎・安永百合子・岩見博夫・吉田則子
倉橋国栄・檜垣清二・眞鍋正義・越智古刀美・松田卓郎
正岡達雄・中島淳兆・日野勇・井本洋二・岡田順次
井出義久・安井武・渡辺正毅・沖英行・安野誓夫
桧垣幸三郎・丹下健二・大澤悦夫・山本静雄・長谷川利明
湯山清志・壺内三徳・山本鬼好・越智延幸・曾我勇夫
芥川邦男・尾上繁喜・河原田旭

(敬称略)

一 報告

理事長挨拶



越智 正規

年明けから、新型コロナウイルスの影響により、会員の皆様も様々な行動を制限され、今までとは違った生活を余儀なくされたのではないのでしょうか。

そのような中、令和2年6月1日、第9回定時総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、会員の皆様からの委任状による代理出席という、今までにない形で行われ、上程されていた議案はすべて可決承認されました。誠にありがとうございました。

また、表彰を受けられました63名の皆様には、ご功績に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。これからも、引き続きご活躍いただきたいと思います。

令和元年度は、前年度に比べて受注件数、契約金額ともに、微増ではありましたが増加いたしました。これはひとえに、会員の皆様の長年に亘る真面目で丁寧な仕事ぶりと、発注者の方々のご理解とご支援の賜物であると、深く感謝しております。

併せて会員数の増加を図るために普及啓発活動にも力を入れてまいりましたが、残念ながら昨年の会員数を超えることはできませんでした。引き続き就業開拓専門員さんの訪問や広報活動、相談事業に、より一層力を入れて参りますので、会員の皆様にもお知り合いの方への勧誘など、ご協力をお願いいたします。

今年度につきましては、コロナ禍により、文化施設の休館やイベントの中止が相次ぎ、シルバー人材センター事業にも、少なからず影響が出ているのが現状でございます。

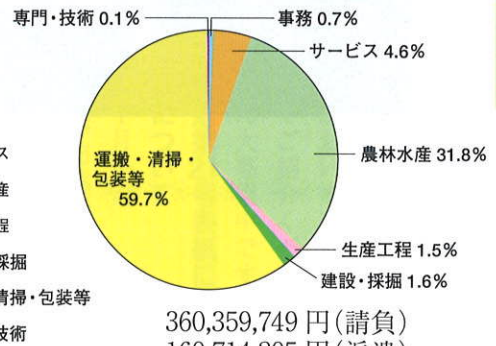
さて、愛媛県でも長期の「ステイホーム」期間を経て、ようやく「感染縮小期」に移行し、新しい生活様式のもとに、日常が戻ってきたように感じます。

マナーとしての「マスク着用」が定着する中で、熱中症対策にも心配りが必要な季節になりました。日頃の体調管理に加えて、適度な水分補給や休息をいつも以上に心がけながら、安全に十分配慮して就業していただきますよう、よろしくお願いいたします。



事業実績

職群別受注件数比率(請負)

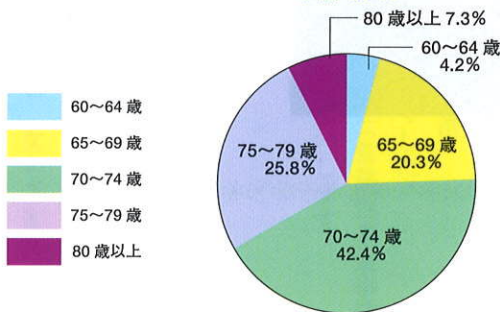


360,359,749 円(請負)
160,714,205 円(派遣)

契約総額 521,073,954 円

会員の状況

年齢構成



会員数

男 687 人 女 172 人 計 859 人

役員が改選されました。

任期満了に伴い、理事16名と監事2名が選任されました。

総会後開催された第3回理事会において、理事長に越智正規氏、副理事長に吉田功氏、常務理事に山崎昭二氏がそれぞれ選定されました。

任期は令和4年度定時総会開催日までとなります。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長	越智 正規
副理事長	吉田 功
常務理事	山崎 昭二
理事	阿部 潔
理事	石丸 司
理事	井出 サツミ
理事	越智 俊昭
理事	越智 祐年
理事	川口 澄子
理事	松尾 幸二
理事	松本 義秀
理事	三好 康生
理事	村上 省二
理事	村上 哲男
理事	山口 富栄
理事	吉岡 輝
監事	越智 透
監事	曾我部 勝

会員ひろば

夏用マスク

手作りしませんか？

おおきくあれで子育て支援の仕事をしている植原香代美さんは、夏用マスクの制作に大忙しなのだそうです。今回は、マスクのつくり方を教えてくださいました。

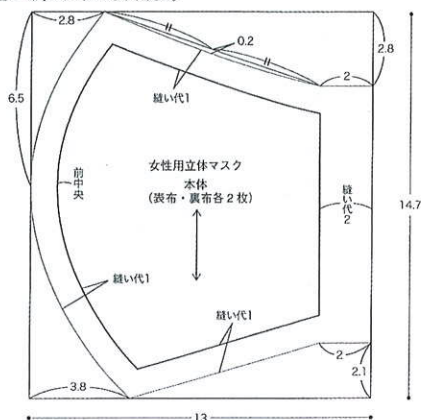
材料

布 表裏共に30×20 cm
ゴム 50 cm (25 cm 2本)

- ①型紙に合わせて切った布（表布と裏布各2枚）を中表にして、縦中央を縫う。
 - ②縫い代を0.5 cmにカットし、カーブに切り込みを入れる。
 - ③表布と裏布を中表に合わせて上下を縫い、表に返して上下にステッチをかける。
 - ④両端を三つ折りにして縫い、ゴムを通して結ぶ。
- 出来上がりは、女性用のサイズです。男性用は1 cmから1.5 cm大きめに作ってください。
- 夏用マスクは薄い生地を使うと、涼しくつけることが出来ます。



寸法図 原寸にてプリントしてください。



マナーとしてのマスクを、いろいろな布で作ることで、おしゃれに使う工夫をしているそうです。

段駄羅

渡辺 修一

輪島段駄羅保存会に入会して4年が経ち、難しさと共に、日本語独特の音意義表現の面白さを実感しています。今回は、詠み繋いでゆく連句（しりとりの句）の一部をご紹介します。

止まぬデモ（行く青瓦台）
（育成課題） 後継者

後継者（農園仕切る）
（能演じきる） 中学生

中学生（身長伸びた）
（清朝の美だ） 紫禁城

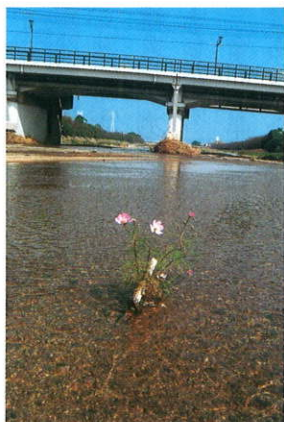
紫禁城（行ってきたから）
（一滴宝） 献血を

献血を（何回かした）
（何かいかした） 若い衆

若い衆（ハイテク使う）
（履いて靴買う） 確かめて

確かめて（不確かな意図）
（蓋しかない） 鍋探す

鍋探す（雨漏り用の）
（尼も利用の） 美顔液



井出祥治



武田正春



池田高志

会員作品

そこはへそ（両手で隠し）
（寮出て各自） 独り立ち

美顔液（叔母カネボウや）
（おバカね坊や） そこはへそ

センターからののお知らせ



○表彰の栄に浴しました

愛媛県シルバー人材センター連合会が開催する令和2年度定時総会において、部門別表彰の「植木剪定部門」「路上事故無事故部門」で表彰されました。併せて、平尾和政さん、安井武さん、渡辺昭利さんが、安全就業優良センタ―等表彰「個人部門」(年間60日以上就業し、過去7年間無事故であること)において表彰されました。

表彰されました皆様、誠におめでとうございました。今後益々のご活躍を期待しています。



○適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入について

2023年10月1日より、「適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)」が導入されます。現在会員の皆様にお支払いしている配分金等は、「配分金等本体相当額」と「消費税等相当額」に分けられます。本来、消費税は納税の義務がありますが、一千万円以下の事業者(会員の皆さんは、すべて「個人事業者」とみなされます)は免税事業者でしたので、皆さんにお支払いしていた配分金に含まれる消費税等は、納税の義務はありませんでした。

しかしながら、インボイス制度が導入されますと、免税業者である会員のみなさん(「適格請求書発行事業者」の申請登録を受けた方は除く)に配分金等本体に係る消費税等相当額をお支払いすることが出来なくなります。今までお支払いしている「消費税等相当額」については、みなさんの益税となっていたこと、2023年10月以降は、お支払いできなくなることを、ご理解ください。

○もしも事故が起これたら

就業中の事故については、**速やかに事務所に報告してください。**(報告が遅れると、保険対応ができない場合があります。)

事故の詳細や、どのように対応したかについて、会員さんご自身に「事故報告書」と、今後どのように事故防止

に努めるかの「改善対策」を作成していただきます。

○会員の募集について

新入会員を募集しています。剪定や草刈りが出来る方で、仕事をしたいと思っている方がおいでしたら、ぜひとも事務局までご紹介ください。特に女性の会員さん大募集中です。

○シルバー今治第21号表紙に掲載する写真の募集について

発行は来年1月予定

【題材】自由(季節感のあるもの)

○広報掲載記事の募集について

【テーマ】
シルバー人材センターで就業した体験談等

【文字数】400字程度

【原稿締切】10月30日(金)

作品、記事の提出先は、いずれもセンター事務局です。

○事務局人事

【退職】富田 浩

お疲れさまでした。

【新任】山崎昭二(常務理事兼事務局長)
よろしく願います。

【配分金支払日】

9月18日(金) 10月20日(火)
11月20日(金) 12月21日(月)

【会員数】

男706名 女178名
計884名 (7月現在)

編集後記

「シルバー今治」は、発刊より10年経過し、20号をお届けすることができました。

令和2年度の定時総会は、コロナ禍にあり、会員の皆様とお会いできず、とても残念でした。

「会員ひろば」に掲載している作品は、本来ならば総会と同時期に「会員作品展」として掲示する予定のものでしたが、残念ながら、今回は広報誌面での披露となりました。皆さんの力作をご覧ください。

さて、正体のつかめない新型コロナウイルスにより、不要不急の外出を控えるなど、試験の日が続き、当たり前であった日常が一変しました。

感染予防のためのマスクが必須の生活ですが、これからの季節熱中症弱者の高齢者は、「感染予防」と「熱中症対策」を同時にしなければなりません。早めに冷房をつけ、こまめな水分補給をしてください。人の少ない場所では、距離を十分にとって、マスクを外しましょう。

コロナウイルスの収束は予測できない状態にあります。が、「うつらない自己防衛」「うつさない配慮」をして、コロナ禍の時代を支えあってゆきましよう。

収束の日を待ち願うばかりです。

(井出)